

研究指導			修了要件 総合演習 3 科目 3 単位必修、また特別研究から 6 科目 12 単位を選択必修、合計 15 単位を取得し、かつ博士論文を提出し、審査および最終試験に合格すること。
A 演習			
地理空間システム学総合演習Ⅲ	1		
地理空間システム学総合演習Ⅳ	1		
地理空間システム学総合演習Ⅴ	1		
B 特別研究			
人文地理学特別研究Ⅰ		2	
人文地理学特別研究Ⅱ		2	
人文地理学特別研究Ⅲ		2	
人文地理学特別研究Ⅳ		2	
人文地理学特別研究Ⅴ		2	
人文地理学特別研究Ⅵ		2	
自然地理学特別研究Ⅰ		2	
自然地理学特別研究Ⅱ		2	
自然地理学特別研究Ⅲ		2	
自然地理学特別研究Ⅳ		2	
自然地理学特別研究Ⅴ		2	
自然地理学特別研究Ⅵ		2	
地理教育・地理情報科学特別研究Ⅰ		2	
地理教育・地理情報科学特別研究Ⅱ		2	
地理教育・地理情報科学特別研究Ⅲ		2	
地理教育・地理情報科学特別研究Ⅳ		2	
地理教育・地理情報科学特別研究Ⅴ		2	
地理教育・地理情報科学特別研究Ⅵ		2	

7 心理学研究科

心理学研究科は、心理学の基礎知識・技能を基に、これをさらに発展させ、建学の精神を身につけて時代の変化に即応できる柔軟な思考と能力をもつ自立的な研究者・高度な職業専門人を養成することおよびそのために必要な教育研究を行うことを、人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的とする。

(1) 修士課程

心理学研究科修士課程では、臨床心理学、または対人・社会心理学分野の高度な専門的知識と技能に基づき、研究・実践上の倫理に配慮し、社会の多様なニーズに応えることができる、高度な職業専門人・研究者を養成することおよびそのために必要な教育研究を行うことを、人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的とする。

① 臨床心理学専攻

高度の心理学的援助者として各種の実践活動を行い、かつ臨床心理学的研究をも担うことのできる人材を育成する。

授業科目	必修	選択	備考
臨床心理学特論Ⅰ	2		修了要件 必修14科目27単位、A群からE群より各群2単位以上、合計37単位以上を取得し、かつ修士論文を提出し、審査に合格すること。 修士論文の内容が臨床心理学に関するものであること。
臨床心理学特論Ⅱ	2		
臨床心理面接特論Ⅰ [心理支援に関する理論と実践]	2		
臨床心理面接特論Ⅱ	2		
臨床心理査定演習Ⅰ [心理的アセスメントに関する理論と実践]	2		
臨床心理査定演習Ⅱ	2		
臨床心理基礎実習	2		
臨床心理学演習Ⅰ	2		
臨床心理学演習Ⅱ	2		
心理実践実習Ⅰ	2		
臨床心理実習Ⅰ [心理実践実習Ⅱ]	2		
臨床心理実習Ⅱ	1		
臨床心理学基礎演習Ⅰ	2		
臨床心理学基礎演習Ⅱ	2		
A群			
臨床心理学研究法特論		2	
心理統計法特論		2	
心理学研究法特論		2	
B群			
発達臨床心理学特論 [福祉分野に関する理論と支援の展開Ⅰ]		2	

人格心理学特論		2	
教育心理学特論		2	
C群			
家族心理学特論 [家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践Ⅱ]		2	
犯罪心理学特論 [司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開]		2	
D群			
精神医学特論 [保健医療分野に関する理論と支援の展開Ⅰ]		2	
障害児・者心理学特論 [福祉分野に関する理論と支援の展開Ⅱ]		2	
神経生理学特論 [保健医療分野に関する理論と支援の展開Ⅱ]		2	
E群			
臨床福祉心理学特論		2	
投映法特論		2	
関連科目			
コミュニティ心理支援特論 [家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践Ⅰ]		2	
教育分野に関する理論と支援の展開		2	
心の健康教育に関する理論と実践		2	
産業・労働分野に関する理論と支援の展開		2	
バーチャルリアリティ心理学特論		2	
心理学英語文献講読演習		2	

② 対人・社会心理学専攻

対人・社会心理学に関する専門的な知識・技能を基に、実社会に貢献できる高度な専門職業人を育成する。

授業科目	必修	選択	備考
選択必修科目			修了要件

コミュニケーション心理学演習Ⅰ		2
コミュニケーション心理学演習Ⅱ		2
コミュニケーション心理学演習Ⅲ		2
コミュニケーション心理学演習Ⅳ		2
パーソナリティ心理学演習Ⅰ		2
パーソナリティ心理学演習Ⅱ		2
パーソナリティ心理学演習Ⅲ		2
パーソナリティ心理学演習Ⅳ		2
産業組織心理学演習Ⅰ		2
産業組織心理学演習Ⅱ		2
産業組織心理学演習Ⅲ		2
産業組織心理学演習Ⅳ		2
集団心理学演習Ⅰ		2
集団心理学演習Ⅱ		2
集団心理学演習Ⅲ		2
集団心理学演習Ⅳ		2
社会問題研究演習Ⅰ		2
社会問題研究演習Ⅱ		2
社会問題研究演習Ⅲ		2
社会問題研究演習Ⅳ		2
消費者心理学演習Ⅰ		2
消費者心理学演習Ⅱ		2
消費者心理学演習Ⅲ		2
消費者心理学演習Ⅳ		2
社会言語学演習Ⅰ		2
社会言語学演習Ⅱ		2
社会言語学演習Ⅲ		2

選択必修科目から8単位以上、選択科目から20単位以上、合計30単位以上を取得し、かつ修士論文を提出し、審査に合格すること。

社会言語学演習Ⅳ		2
コミュニティ心理学演習Ⅰ		2
コミュニティ心理学演習Ⅱ		2
コミュニティ心理学演習Ⅲ		2
コミュニティ心理学演習Ⅳ		2
臨床社会心理学演習Ⅰ		2
臨床社会心理学演習Ⅱ		2
臨床社会心理学演習Ⅲ		2
臨床社会心理学演習Ⅳ		2
自己心理学演習Ⅰ		2
自己心理学演習Ⅱ		2
自己心理学演習Ⅲ		2
自己心理学演習Ⅳ		2
選択科目		
社会調査実習		2
質的研究実習		2
多変量解析実習		2
コミュニケーション心理学特論		2
パーソナリティ心理学特論		2
認知社会心理学特論		2
自己心理学特論		2
対人感情研究特論		2
臨床社会心理学特論		2
産業組織心理学特論		2
集団心理学特論		2
社会問題研究特論		2
消費者心理学特論		2

コミュニティ心理学特論		2
社会言語学特論		2
対人・社会心理学特別講義		2

(2) 博士後期課程

心理学研究科博士課程では、心理学にかかわる諸領域の高度な専門的知識と技能に基づき、研究倫理を遵守し、社会の変化に即応した課題解決を導くことができる研究者・高度な職業専門人を養成することおよびそのために必要な教育研究を行うことを、人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的とする。

① 心理学専攻

心理学およびその関連領域に関する最新の専門知識を持ち、これらの領域において独創的・開拓的研究を行うことのできる研究者を育成する。

授業科目	選択必修	備考
A. 研究演習科目群		修了要件
社会問題研究演習Ⅰ	4	3年間にわたって指導教授が担当するA. 研究演習科目群から12単位を取得すること。また、B. 特殊研究科目群から選択必修4単位以上を取得し、合計16単位以上を取得すること。かつ博士論文を提出し、審査に合格すること。
社会問題研究演習Ⅱ	4	
社会問題研究演習Ⅲ	4	
障害児・者心理学研究演習Ⅰ	4	
障害児・者心理学研究演習Ⅱ	4	
障害児・者心理学研究演習Ⅲ	4	
認知行動臨床心理学研究演習Ⅰ	4	
認知行動臨床心理学研究演習Ⅱ	4	
認知行動臨床心理学研究演習Ⅲ	4	
産業組織心理学研究演習Ⅰ	4	
産業組織心理学研究演習Ⅱ	4	
産業組織心理学研究演習Ⅲ	4	
集団心理学研究演習Ⅰ	4	
集団心理学研究演習Ⅱ	4	
集団心理学研究演習Ⅲ	4	
異常心理学研究演習Ⅰ	4	
異常心理学研究演習Ⅱ	4	

異常心理學研究演習Ⅲ	4
臨床心理學研究演習Ⅰ	4
臨床心理學研究演習Ⅱ	4
臨床心理學研究演習Ⅲ	4
臨床社會心理學研究演習Ⅰ	4
臨床社會心理學研究演習Ⅱ	4
臨床社會心理學研究演習Ⅲ	4
健康・醫療心理學研究演習Ⅰ	4
健康・醫療心理學研究演習Ⅱ	4
健康・醫療心理學研究演習Ⅲ	4
消費者心理學研究演習Ⅰ	4
消費者心理學研究演習Ⅱ	4
消費者心理學研究演習Ⅲ	4
B. 特殊研究科目群	
臨床心理學特殊研究Ⅰ	2
臨床心理學特殊研究Ⅱ	2
認知行動臨床心理學特殊研究Ⅰ	2
認知行動臨床心理學特殊研究Ⅱ	2
異常心理學特殊研究Ⅰ	2
異常心理學特殊研究Ⅱ	2
障害児・者心理學特殊研究Ⅰ	2
障害児・者心理學特殊研究Ⅱ	2
産業組織心理學特殊研究Ⅰ	2
産業組織心理學特殊研究Ⅱ	2
社會問題特殊研究Ⅰ	2
社會問題特殊研究Ⅱ	2
集團心理學特殊研究Ⅰ	2

集団心理学特殊研究Ⅱ	2
臨床社会心理学特殊研究Ⅰ	2
臨床社会心理学特殊研究Ⅱ	2
健康・医療心理学特殊研究Ⅰ	2
健康・医療心理学特殊研究Ⅱ	2
消費者心理学特殊研究Ⅰ	2
消費者心理学特殊研究Ⅱ	2

第6条の3 次の研究科では、夜間その他特定の時間または時期において授業または研究指導を行うことができる。

文学研究科	仏教学専攻	修士課程
	英米文学専攻	修士課程
	社会学専攻	修士課程
	史学専攻	修士課程
	国文学専攻	修士課程
	哲学専攻	修士課程
経済学研究科	経済学専攻	修士課程および博士後期課程
法学研究科	法学専攻	修士課程
経営学研究科	経営学専攻	修士課程
社会福祉学研究科	社会福祉学専攻	修士課程および博士後期課程
地球環境科学研究科	環境システム学専攻	修士課程および博士後期課程
	地理空間システム学専攻	修士課程および博士後期課程
心理学研究科	臨床心理学専攻	修士課程
	対人・社会心理学専攻	修士課程
	心理学専攻	博士後期課程

第7条 本大学院の学生は、指導教授の指導の下に、毎学年または学期の初めに、当該学年において履修すべき授業科目を選定しなければならない。

第8条 修士課程の指導教授は、必要があると認めるときは、所属の学生に対し、所定の授業科目以外に研究科の他の専攻部門、または学部には設けられた授業科目を指定して、これを履